

# デイサービスセンター青空

## 令和3年度 事業計画

### 1. 事業計画・運営方針

- (1) 財政基盤の安定と透明性
- (2) 人財育成のための研修の企画と実施
- (3) 通信・インフラの整備
- (4) 理念の理解と浸透
- (5) 心に響くケアの推進・しあわせが循環する社会の創造

#### 重点目標

- ① 組織・経営のガバナンス強化に努め、定期的な会議開催等により事業の円滑な推進を図る。他部署との連携を図り適正な業務執行と公正で安定した法人経営に努める。
- ② 「信愛和誠」の理念に基づき、利用者に寄り添ったケアが実現できるよう、各会議・朝礼等で復唱し浸透を図る。日々の支援活動や意思決定が理念に基づいて行われるように周知する。
- ③ 等級基準書により各職員が職責内容を理解し、専門職としての専門性・人間性の資質向上のため研修受講と業務に必要な資格取得を目指す。
- ④ 地域密着型デイサービス・ケアプランセンター青空としてより地域に開かれた活動を実施し、自施設の情報発信や地域ニーズの把握に努める。(青空カフェ等による高齢者相談窓口・運営推進会議の実施・ボランティアの受入れ・地区活動への参加・広報誌作成、ホームページやSNSの活用、新規サービスの必要性の検討)
- ⑤ 利用者様の楽しみ喜びを見つけ提供する・ADLの維持向上を目指す。

### 2. 施設運営

#### ① デイ事業

- ・年間目標 稼働率 80%以上 (14.4人/日、稼働 20日：288人、21日：302人)
- ・月目標 新規利用者 2名 稼働 8日/月の増加
- ・加算継続 (サービス提供体制加算 I)

#### ② 利用者健康管理

##### 年間保健行事

- ・新型コロナウイルス感染症予防の徹底 (年間)
- ・ノロウイルス、インフルエンザウイルス流行前の周知活動 (10～11月)
- ・来所時のうがい手洗いの徹底

## ③ 主な年間行事

月	行事	月	行事
4月	花見	10月	アンケート実施
5月	端午の節句	11月	片浜小中、愛鷹中体験
6月		12月	クリスマス会
7月	七夕・運営推進会議①	1月	年賀式
8月	夏祭り	2月	豆まき/片浜文化祭 運営推進会議②
9月	敬老会・ノロインフル周知	3月	ひな祭り

## ④ ボランティア活動

今年度は新型コロナウイルスワクチン接種状況を見ながら感染予防対策のとれる範囲で受け入れを行う、またビデオ交流を実施していく。

令和2年度受入ボランティア・・・団体数 0 (DVDによるボランティア 2件)

## ⑤ 食事

栄養士・厨房職員と協力し本人に適切な食事形態や本人の嗜好に合わせた食事内容の提供を適宜行う。

## ⑥ 衛生管理

- ・持ち込まない、広げない為の活動の継続
- ・1日2回次亜塩素酸消毒の実施及びチェック（手摺・蛇口・トイレ・テーブル等）
- ・感染症流行期（12月～3月）の使用毎のトイレ消毒
- ・月2回以上の床の湿式清掃の実施
- ・1ケア1手洗いの徹底・マスクの常時着用
- ・嘔吐ボックスの定期点検、準備（感染症対策委員中心に3か月毎）

## ⑦ 安全管理

- ・車いすやシルバーカーなどの定期的な点検の実施（週1回）
- ・利用者の座る椅子・テーブル等の不具合の点検（月1回）
- ・施設内の危険個所の気づきを呼びかける（随時）

## 3. 職員処遇

## ① 職員構成

	デイ		
	常勤	常勤兼務	非常勤
管理者		1	
生活相談員		2	1
介護職員		2	2
看護師兼機能訓練指導員		2	
介護支援専門員			
施設管理		1	2
事務員		1	

## ② 健康管理

- ・健康診断 年 1 回 11 月
- ・細菌検査（検便） 月 1 回

## ③ 職員会議

- ・毎月実施・・・全体会議、職場会議、感染症会議、交流会議、リーダー会議  
給食会議、NS 会議、衛生会議
- ・随時開催・・・身体拘束廃止会議、安全対策会議

## ④ 職員研修

- ・内部研修会の企画・運営・実施を組織的に行う
- ・外部研修への積極的な参加・フィードバックを行う

## 4. 施設管理

## ① 事務・設備関係

- ・施設管理課による床清掃 月 1 回
- ・施設管理課によるお風呂場高圧洗浄 月 1 回
- ・害虫駆除 年 2 回
- ・電気設備点検 月 1 回
- ・浄化槽点検 月 1 回
- ・エレベーター点検 月 1 回

## 5. 災害対策

## ① 避難訓練・防災設備の点検及び非常食の備蓄を行う。

- ・災害避難時の避難訓練（毎月）を行う。
- ・防災設備の点検を行う。（年間 2 回）
- ・非常食糧の備蓄をする。（毎年備蓄量を確認、記録）
- ・年 2 回、消防署合同の施設総合防災訓練を実施する。

## 6. 利用者家族に向けて

## ① お知らせ

- ・毎月 1 回青空信愛和誠新聞を発行し日々の様子を家族に伝える。
- ・HP に信愛和誠新聞を載せ、インターネット上からも閲覧可能にする。

## ② アンケートの実施

- ・年 1 回のアンケート調査にてケアの自己点検を行う。

## 7. 地域連携

- ・地域住民に向けた認知症カフェの開催（企画・立案・運営）を行う。  
（地域高齢者支援の窓口としての機能が果たせるよう活動を継続）
- ・地域住民の方や市役所との連携や交流のため、運営推進会議を開催する。  
（7 月・1 月）

- ・利用者ご家族や地域住民に向けた相談会を企画・実施する。(年1回)
- ・小諏訪地区で開催される作品展(2月)に出展し参加する。
- ・ボランティアの受け入れを積極的に行う。
- ・片浜小中学校、金岡中学校の職場体験の受入を行う。

## 8. 資金計画

- ・通常の運営経費は、介護給付費、利用者負担金収入等でまかなう。
- ・事業活動収支差額5%を本部に繰り入れる。